



### 1 大文殊

文殊山は、泰澄大師が開いた越前五山(白山・越知山・日野山・吉野ヶ岳・文殊山)の中心にある。大文殊はその文殊山の頂上にあり、本堂には文殊菩薩が安置されている。令和2年10月に再建された。



### 2 小文殊

室堂には聖観音菩薩が安置されている。室堂の目前には天狗杉とよばれる大木がそびえている。また、小文殊一帯の広場には休憩所やトイレが設置されている。



### 3 奥の院

奥の院堂には阿弥陀如来像が安置されている。平成25年に改築された。奥の院の山頂には文殊山の二等三角点が設置されている。



### 4 展望台

鯖江市側は片上地区が眼下に広がり、奥には日野山を望むことができる。福井側は福井平野を一望できる。



### 5 カタクリ群生地

早春の文殊山を包み込んでいる。開花シーズンには大勢の人が訪れる群生地になっている。

# 片上おいとこMAP

KATAKAMI



詳細はこちらをご覧ください



## 片上info

**文殊山**

標高365mで約1,300年前(西暦717年)に泰澄大師が開山したといわれている。越前五山の一つに数えられ、北陸地区で登られた山のランキングにおいて、立山・白山に並ぶほど人気がある。

**鯖江かたかみ春たんぼ**

榎坂トンネルが開通した昭和63年から毎年4月29日に、文殊山と片上公民館を会場に実施している。登山やどろんこパレー、歌やおどり発表、餅まき、風船飛ばしなどがある。◎写真は「どろんこパレー」




### 6 山姥岩

山姥が住んでいたと伝えられる洞窟である。山姥は夜になると麓に降りてきて、野菜や果物、日用品を盗んで暮らしていたといわれている。



### 7 胎内くぐり

大きな岩の門をくぐると知恵を授かり安産のご利益があるが、邪心あるものがくぐると岩が閉じてしまうとされている。



### 8 岩上地蔵

文殊山山頂付近は軟岩で降雨により岩が崩れ落ち、山仕事は危険であった。地蔵菩薩を祀りお祈りをしたところ落石は止まった。村人はこの地蔵を岩の神様「岩神」後曰「岩上」と変称させて今日に至っている。



### 9 岩題目

1294年日蓮聖人の孫の日像菩薩が北陸を巡礼された折に、この岩に題目「南無妙法蓮華經」を刻んだものである。参拝する人も多くなり、1918年参拝道場の妙真寺を建立した。毎年、御祭礼・御報恩・大法要を営んでいる。



### 10 今北山古墳

4世紀に今北山につくられた古墳で、大小合わせて30基余り。山頂には、北陸地方で最大級の長さ75mの前方後円墳がある。

こちらから「今北山古墳群」(鯖江市ホームページ)がご覧になれます。